

株主メモ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
剰余金の配当の基準日	毎年8月31日
定時株主総会	毎年11月
単元株式数	100株
上場金融商品取引所 (証券コード)	東京証券取引所 (6915)
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL http://www.chiyoda-i.co.jp/

株主名簿管理人／
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先
(郵便物送付・電話照会)

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待

対象株主

毎年8月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主様

優待内容

保有株式数 100株以上1,000株未満

当社オリジナル図書カード 1,000円券

保有株式数 1,000株以上

当社オリジナル図書カード 3,000円券

さらに100株以上の株式を1年間を超え連続所有されている株主様には1,000円の図書カードを追加贈呈。

贈呈時期

毎年11月下旬（株主総会終了後）の送付を予定しています。

move

第55期 中間報告書

平成21年9月1日 ▶ 平成22年2月28日

営業の概況

CONTENTS

営業の概況	2
Sales Activities	
連結財務諸表	3
Consolidated Financial Statement	
会社概要	5
Corporate Data	
株式の状況	6
Stock Information	

経営信条

第1章

吾社は、社会公共の福祉を増進し、世界の進運に貢献することを期する。

第2章

吾社は、すべての関係者の、適正な利益の確保に、奉仕することを期する。

第3章

吾社は、社員の人格涵養と、生活の安定向上に、寄与することを期する。

第4章

吾社は、環境保全に取り組み、良好な地球環境を、次世代に引き渡すことを期する。

皆様におかれましては、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第55期第2四半期（平成21年9月1日から平成22年2月28日まで）の営業の概況および決算の内容につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、2008年後半に端を発した金融危機により世界的に急激な落込みに見舞われた後、2009年前半に底入れをし、年末にかけて、中国を中心とする新興諸国に牽引される形で回復に向かい、その傾向は、2010年前半におきましても続いております。特に中国におきましては、政府による経済対策の効果もあり、非常に高い経済成長が続いており、米国におきましても、在庫調整が進んだことにより生産活動が緩やかながら増加してきております。

世界経済全体で見れば、緩やかな回復が続き、二番底の懸念が後退したものの、各国の財政赤字に対する対応を間違えれば大きな悪影響を与える可能性も懸念されております。

我が国の経済におきましては、企業の収益環境は外需を中心とした改善の動きが続いておりますが、内需につきましては、雇用・所得環境が厳しく低迷したままの状態が続いており、今後についてもエコポイント等の政策効果の反動や政権交代による政策変更の影響等に不透明感があり、厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、構造改革を推し進め、油断することなく継続的な原価低減への取り組み等によるコスト削減を行うことで収益の改善に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は185億5千万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は7億3千1百万円（前年同期比23.9%増）、経常利益は6億5千3百万円（前年同期比660.4%増）、当四半期純利益は2億3千3百万円（前年同四半期は5億8千6百万円の四半期純損失）となりました。

皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年5月

代表取締役社長 小池光明

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	（ご参考）	当第2四半期	前 期
	前第2四半期 平成21年2月28日現在	平成22年2月28日現在	平成21年8月31日現在
● 資産の部			
流動資産	20,096	20,489	18,879
固定資産	13,089	13,119	13,887
有形固定資産	9,876	9,218	9,810
無形固定資産	1,114	1,116	1,194
投資その他の資産	2,098	2,784	2,883
資産合計	33,185	33,609	32,767

（単位：百万円）

科 目	（ご参考）	当第2四半期	前 期
	前第2四半期 平成21年2月28日現在	平成22年2月28日現在	平成21年8月31日現在
● 負債の部			
流動負債	8,706	9,067	7,996
固定負債	2,562	944	876
負債合計	11,269	10,012	8,873
● 純資産の部			
株主資本	24,204	25,433	25,513
資本金	2,331	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450	2,450
利益剰余金	19,953	21,183	21,263
自己株式	△ 531	△ 531	△ 531
評価・換算差額等	△ 2,288	△ 1,836	△ 1,620
その他有価証券評価差額金	△ 118	△ 12	△ 91
為替換算調整勘定	△ 2,169	△ 1,824	△ 1,528
純資産合計	21,916	23,596	23,893
負債・純資産合計	33,185	33,609	32,767

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	（ご参考）	当第2四半期	前 期
	前第2四半期 （累計） 平成20年9月 1日～ 平成21年2月28日	（累計） 平成21年9月 1日～ 平成22年2月28日	平成20年9月 1日～ 平成21年8月31日
① 売上高	19,083	18,550	33,633
売上原価	15,258	14,893	27,736
売上総利益	3,825	3,656	5,896
販売費及び一般管理費	3,234	2,925	6,337
② 営業利益	590	731	△ 441
営業外収益	89	100	184
営業外費用	593	178	677
経常利益	85	653	△ 933
特別利益	17	50	104
特別損失	571	319	263
税金等調整前四半期（当期）純利益（△は損失）	△ 467	384	△ 1,093
法人税、住民税及び事業税	—	—	150
法人税等還付額	—	—	△ 163
法人税等調整額	—	—	△ 1,803
法人税等	119	151	△ 1,816
③ 四半期（当期）純利益（△は損失）	△ 586	233	723

ポイント

1 売上高

第2四半期累計では前年を下回りましたが（△2.8%）、累計期間後半は前年実績を上回っております。

2 営業利益

昨年来、継続しているコストカット諸策などの効果により、前年同期比23.9%増と、収益力が改善いたしました。

3 純利益

為替差損（△154百万円）、投資有価証券評価損（△169百万円）、フィリピン子会社整理損（△119百万円）を織り込みながらも増益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	（ご参考）	当第2四半期	前 期
	前第2四半期 （累計） 平成20年9月 1日～ 平成21年2月28日	（累計） 平成21年9月 1日～ 平成22年2月28日	平成20年9月 1日～ 平成21年8月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,295	792	1,968
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,467	△ 146	△ 1,886
財務活動による キャッシュ・フロー	108	△ 912	△ 22
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 862	△ 77	△ 470
現金及び現金同等物の 増減額	△ 925	△ 343	△ 410
現金及び現金同等物の 期首残高	6,090	5,680	6,090
現金及び現金同等物の 四半期末（期末）残高	5,165	5,297	5,680

当冊子よりさらに詳しい財務情報などは当社IRサイト
http://www.chiyoda-i.co.jp/toushi/ir_f.html
 でご覧いただけます。

千代田インテグレ IRライブラリー

検 索

会社概要 (平成22年2月28日現在)

会社概要

社名 千代田インテグレ株式会社
 設立 昭和30年9月
 本社所在地 〒104-0044 東京都中央区明石町4-5
 資本金 23億3,156万円
 従業員数 349名 (グループ総計 4,724名)
 主要な事業内容 当社は、OA機器・AV機器・通信機器・自動車など各製品の機構部品、機能部品の製造販売を主な事業としております。

千代田インテグレグループ

● 国内

本社 〒104-0044 東京都中央区明石町4-5
 TEL. 03-3542-3410 (代)
 本社・海外部 長野営業所
 東京支店・工場 静岡営業所
 大阪支店・工場 名古屋営業所
 豊橋支店・工場 三重営業所
 青森営業所 長浜営業所
 仙台営業所 大阪営業所
 厚木営業所 広島営業所
 新潟営業所 大分営業所
 子会社 サンフエルト株式会社

● 海外

シンガポール現地法人 CHIYODA INTEGR CO.,(S) PTE. LTD.
 マレーシア現地法人 CHIYODA INTEGR CO.,(M) SDN. BHD.
 タイ現地法人 CHIYODA INTEGR CO.,(PENANG) SDN. BHD.
 インドネシア現地法人 CHIYODA INTEGR CO.,(JOHOR) SDN. BHD.
 フィリピン現地法人 PT. CHIYODA INTEGR INDONESIA
 ベトナム現地法人 CHIYODA INTEGR (THAILAND) CO., LTD.
 中国現地法人 PT. CHIYODA INTEGR PHILIPPINES, INC.
 千代達電子製造(香港)有限公司
 千代達電子製造(大連)有限公司
 千代達電子製造(深圳)有限公司
 千代達電子製造(中山)有限公司
 千代達電子製造(蘇州)有限公司
 千代達電子製造(東莞)有限公司
 千代達電子製造(天津)有限公司
 AMERICA現地法人 CHIYODA INTEGR OF AMERICA (SAN DIEGO),INC.
 MEXICO現地法人 CHIYODA INTEGR DE BAJA CALIFORNIA,S.A.DE C.V.
 SLOVAKIA現地法人 CHIYODA INTEGR DE TAMAULIPAS S.A.DE C.V.
 CHIYODA INTEGR SLOVAKIA,s.r.o.

役員

代表取締役会長 丸山 要
 代表取締役社長 小池 光明
 常務取締役 高山 勝
 取締役 佐藤 正夫
 取締役 村澤 琢己
 取締役 佐藤 明
 常勤監査役 今井 忠夫
 監査役 土屋 賢治
 監査役 中川 益男
 監査役 渡邊 直文

株式の状況 (平成22年2月28日現在)

株式の状況

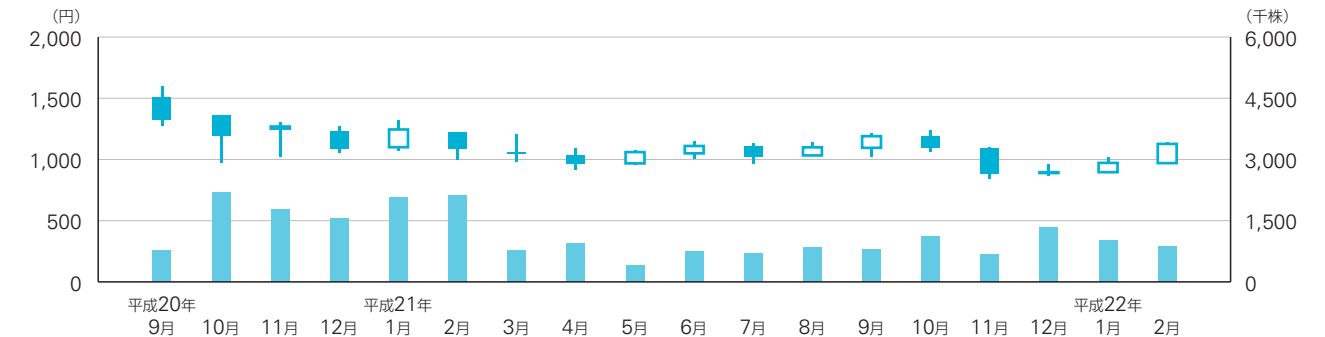
発行可能株式総数 **32,600,000株**
 発行済株式の総数 **14,128,929株**
 株主数 **5,455名**

大株主(上位10名)

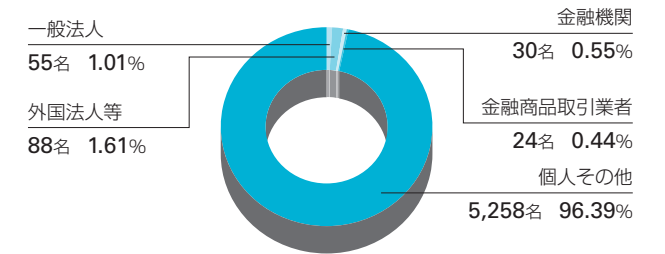
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
いちごアセットトラスト	3,341	23.65
株式会社三菱東京UFJ銀行	429	3.03
日本生命保険相互会社	423	2.99
日本毛織株式会社	385	2.72
東京中小企業投資育成株式会社	378	2.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	342	2.42
千代田インテグレ株式会社	311	2.20
第一生命保険相互会社	304	2.15
チェース マンハッタン バンク ジーティーエス クライアント アカウント エスクロウ	291	2.05
株式会社みずほ銀行	289	2.05

(注) 第一生命保険株式会社は、平成22年4月1日をもって、相互会社から株式会社への組織変更を行っています。

株価・出来高



所有者別株主数分布状況



所有者別株式数分布状況

